

## 関係各位

有限会社エコ・ライス新潟



湖西市から届いた支援物資

## 岩手県で地元アレルギーの会と連携し行動開始！ 食物アレルギー支援を本格化

6班にわかれて避難所に物資配送、ポスターで啓発

### ○ 盛岡でアレルギー患者会と支援活動開始！！ ○



アレルギーの家族が冷え込む早朝に集合！

早朝の盛岡市「ふれあいランド盛岡」の駐車場に、盛岡市のアレルギーっ子サークル「ミルク」会員10名、アレルギー支援ネットワーク栗木理事、埼玉からのボランティアドライバー川村大輔さん、そして、エコ・ライス新潟から豊永親子が集合しました。

湖西市からの提供品「アレルギー対応アルファーマ」等の支援物資の配布と「アレルギーの患者さんへのお知らせ」を避難所で掲示する一斉行動を行いました。車8台に分かれて岩手県内の各地の避難所へ！

栗木さん・川村さん、豊永親子は盛岡から陸前高田市へ移動。岩手県の広さに驚きながら燃料不足が気になります。新潟県の長岡市でも燃料制限があり、思うように確保できませんでした。

陸前高田市までは東北自動車道、釜石自動車道を走り抜けられました。中越大震災では道が寸断されていたのとは大きく違います。津波被害地に入ると想像を絶する破壊。一面の瓦礫に息子と声を失ってしまいました。

陸前高田市では避難所、病院2ヶ所にポスターを掲示。支援物資も被災者に直接お渡しました。又、一般食のカップ麺も支援物資として渡しましたが、大感激をされました。パンばかりで「汁物が食べたかった・・・」。被災者の必要な物、情報を届けサポートします。



避難所の診療室前の掲示板にポスターを貼らせてもらう。



一面がガレキの海。どろが陸でどろが海か判別がつかない。



湖西市のアルファーマ、水、マスク、こどもせんべい、生理用品、下着、一般食のカップ麺、スープなど。



トラックからミルクのメンバーの自動車に積み替え。地元事情に明るい方が避難所を回るのは非常に効率的。



悩みの種は「燃料」。行動が制限される。長岡でなんとか入手したガソリン、軽油をミルクのメンバーに提供。



被災地で捜索活動を見つめる被災者。街全体が津波に飲み込まれた。泥の匂いが充満している。